

緑の相談所だより




No.132

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel : 0166-65-5553 Fax : 0166-65-5626
旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成23年10月1日

講習会のご案内 (お申込み・受付は前月の20日から)

「神楽岡公園秋の自然観察会及び桜のトンネルプロジェクト協賛 桜の苗木植樹会」

とき 平成23年10月16日(日) 午後 1:30~3:30 定員 20組
講師 旭川みどり21の会 代表 成田 一芳さん  小中学生(保護者同伴)及び一般

「庭木の冬囲い」-実習-

とき 平成23年10月22日(土)
午後 1:30~3:30 定員 20名
講師 公園緑地協会職員



「落ち葉で作るかんたん堆肥」-実習-

とき 平成23年10月23日(日)
午後 1:30~3:30 定員 30名
講師 相談員



「庭木の雪吊りの基礎」-実習-

とき 平成23年10月29日(土)
午後 1:30~3:30 定員 20名
講師 公園緑地協会職員



「庭木の冬囲い」-実習-

とき 平成23年10月30日(日)
午後 1:30~3:30 定員 20名
講師 公園緑地協会職員
場所 東豊公園

「押し花年賀状を作ろう」-実習-教材費500円

とき 平成23年11月20日(日) 午後 1:30~3:30 定員 20名
講師 押し花つくしんぼ代表 加藤迪子さん



展示会のご案内 (初日は午後から、最終日は4時まで)

「温室の植物写真展」10月1日~23日

出展：道新文化センター写真スクール

第27回「旭川市の公園」絵画展入賞作品展

出展：旭川市公園緑地協会 11月1日~6日

「木の実・草の実写真展」11月8日~27日

出展：神田 亘雄さん

【休館日のご案内】

4月~10月は第2・第4月曜日が休館日です(祝日の場合は翌日)
11月~3月は毎週月曜日が休館日です (")

☆ お知らせ ☆

第27回「旭川市公園絵画展」
イオン旭川ショッピングセンターにて
10月9日(日)10時~12時
「ペットボトルの寄せ植えづくり」
先着20名様無料!!

10月の園芸作業

1 鉢花・球根 類

クンシランは花芽生育を進めるため 10℃位の低温に 60 日間当てましょう。ポインセチア（約 60 日間）、シャコバサボテン（約 30 日）、カランコエ（約 30～40 日）等は短日処理を行いクリスマス頃に開花させましょう。

2 庭木・果樹 類

カエデは落葉後試し切りで樹液が出なければ剪定しましょう。バラは降雪時期になっても落葉しないことがあります。葉をつけて越冬させると、病原菌も持ち越す事になるので葉むしりを行きましょう。

3 洋ラン 類

デンドロビウム・ノビル系は急いで室に入れず、13℃以下の寒さに2週間以上置き花芽を分化させます。

11月の園芸作業

1 鉢花・球根 類

シクラメンの花を長く楽しむには、日中 20℃、夜間 12～15℃を心掛けましょう。クジャクサボテンは人工照明の当たらない 5～10℃の所に置きましょう。

2 庭木・果樹 類

落葉後ブドウの剪定を行います。凍害を防ぐため枝下げも併せて行いましょう。発病の多かったプラム、オウトウ等の灰星病に対し落葉後の防除も徹底しましょう。

3 洋ラン 類

シンビジウムは開花まで、日中 20℃程度、夜間 10℃位で管理するのがポイントです。高温では落蕾の原因となります。

緑の相談 QアンドA (6)

フジの整枝・剪定は、どの様に行いますか。

翌春咲く花芽は、今年伸びた蔓の基部の葉腋と短枝に7月下旬～8月頃につくられ、長い蔓には花芽はつきません。

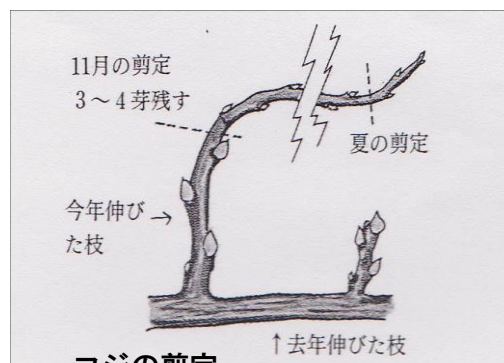
剪定は花後の剪定と、落葉後の剪定で樹形を整えます。

花後の剪定は、勢いの強い枝の先端を切ったり、込み合った部分を間引いたりして、内部まで良く日が当たるようにします。

本格的な剪定は落葉後に行い、今年伸びた蔓の基部の花芽 3～4 芽を残して切り落とします。

花芽のつかない細い枝や、枯れ枝、込み合った枝等も整理しましょう。短枝は切らないのが普通ですが、多過ぎる時は整理をしたほうが良いでしょう。

花芽は丸く大きく、葉芽は細長いので容易に見分けはつきます。



植物の病害虫

その12 「オウトウの灰星病」

普遍的に発生している防除不可欠の病害です。樹上および収穫後の輸送中の果実に多発し、発病の進展が早いので、一夜にして甚大な被害を受けるのも珍しくありません。オウトウの生産を左右する最も重要な病害です。卓効のあったベノミル剤やチオファネートメチル剤に対して耐性菌が出現し、薬効が期待できなくなっています。



1 寄主範囲

オウトウ、モモ、スモモ、アンズ、ウメ

2 病徴

主に花、果実を侵し、ときに葉を侵すことがあります。花腐れは落花直後に見られ、花器全体が淡褐色になって枯れ、灰褐色粉状の胞子の塊を形成し、長く樹上に残ることもあります。幼果には黒褐色の微細な斑点ができ茶褐色に腐敗します。必ず腐敗するとは限らず、天候が回復すると斑点は陥没して、奇形果になったり、カサブタをつけたまま成熟します。軟腐した幼果には灰褐色粉状の胞子の塊が形成されます。熟果では、小さな褐色斑点がつくとたちまち果実全体に広がり軟腐し、大量の灰褐色粉状の胞子の塊を密生させます。葉には、まれに茶褐色の斑点を生じます。

3 伝染経路

越冬伝染源は、発病果が落下し地表面で菌核を作り越冬する場合と、樹上に付着したまま越冬するミイラ果があります。翌春、黒色でナメシ皮状の菌核は発芽して胞子を、ミイラ化した果実からも胞子が形成され、飛散します。これらの胞子は開花期の花に伝染して落花直後に花腐れを起こします。花腐れは長期間にわたって樹上に付着したまま胞子を作り続け、果実への二次伝染源となります。

4 発生環境

融雪が遅かったり、早春長雨の年は菌の胞子の形成が良く、花腐れが多くなります。花腐れ、幼果腐れや熟果腐れは降雨が続くほど多くなり、特に収穫期の長雨により発病は急増します。

5 防除法

病果は翌年の伝染源となるので処分しましょう。

休眠期中に中耕を行って、伝染源となる菌核を地中深くに鋤込むとともに、地表面の乾燥を促進しましょう。

休眠期散布を行ないましょう。

花腐れを防ぐために開花直前と満開3日後に薬剤を散布しましょう。

熟果腐れの防除は収穫20日前頃から（収穫3週間前と2週間前）行ないましょう。

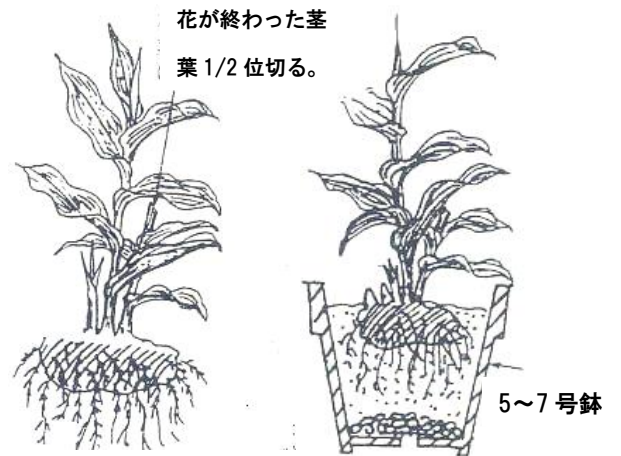
球根類の掘り上げと貯蔵

身近な球根類を紹介します。

カンナ

初霜の前に掘り上げ、鉢植えの場合は鉢のまま室内で花を楽しめます。霜や凍害で傷んできた頃（10月末）掘上げて地上部は切断して新しい根茎の部分を鉢にまとめて土をかけ、凍らないところ（5～8℃）で乾燥に注意して春まで保存して下さい。

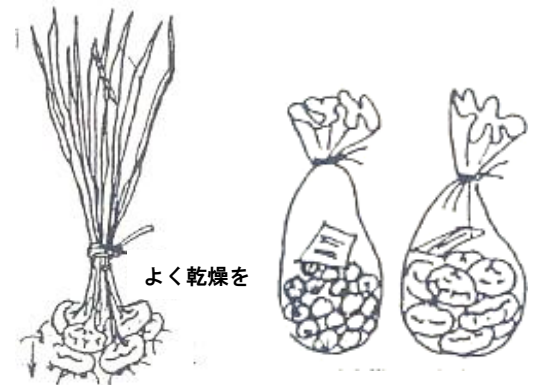
野菜庫や保存ムロがある場合はダンボール箱などにもみ殻、ピートモス、オガクズ、新聞紙などを混入して貯蔵すると容易です。



グラジオラス

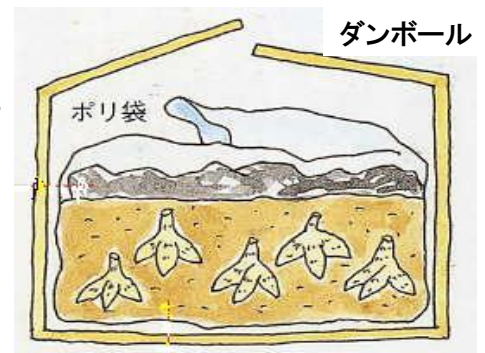
一般的には10月末に掘り上げて、球根を乾燥させてから袋や箱に入れて凍らない所（5～8℃）に置き、乾燥状態で春まで保存します。湿り気があると球根が腐ります。

植えたままでも翌年開花する種はありますが、毎年掘り上げた方が安全です。



ダリア

球根の掘り上げは地上部が凍害で枯れてからです。早めに掘る必要はありません。旭川では10月中下旬頃で十分です。掘りあげたら半日くらい陰干してダンボール箱などに土をつけたまま、球根をはずさずに入れ、カンナと同様にピートモスなどを混入して保存します。



(箱の中にはピートモスやオガクズ、新聞紙を細かくちぎったもの)



展示室の植物 (39)

インドゴムノキ (エラスティカ) クワ科 フィクス属

観葉植物として古くから愛されている種で室内植物の代表的なものです。熱帯アジア原産の高木で現地では30メートルにもなります。インドゴムノキの名はかつて生ゴムを採取していたからついたもので、質が悪く量が取れないことから生ゴム生産は別の品種に変わりました。

デコラゴムノキやフィリゴムノキなどの園芸種が有名ですが、最近では熱帯アフリカ原産のリラタ (カシワバゴムノキ) なども流通しています。